

健康医科学特別実験

Experiments in Health and Medical Science

12単位 (選択) 1年, 2年

中屋豊(授業責任者)・教授 / 人間栄養科学専攻, 阪上浩・准教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】生活習慣病の病態の理解

【授業概要】食生活習慣に起因する生活習慣病が増加しているが、食生活習慣の変化による代謝変化について講義を行う。さらに、食事と腸管での吸収に焦点をあて講義し、チュートリアル形式でグループ討論を行う。

【授業方法】オムニバス方式

【キーワード】[キーワード]

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【履修上の注意】学位論文を作成すること

【到達目標】[目標]

【授業計画】

1. 糖尿病, インスリン抵抗性, 脂肪細胞の生理作用に関する分野において, 発症機序などについて自己学習, グループ討論を行うことを通じて最新の治験を学ぶ (担当者: 中屋 豊)
2. 腸管での栄養素吸収機構について解説するとともに, チュートリアル形式で各自が自己学習し, 討論を行うことにより深い理解を得るようになる。 (担当者: 高橋 章)

【成績評価】実験, 討論を行い, 論文作成する。

【再試験】ない

【教科書】[教科書]

【参考書】[参考資料]

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217626>

【連絡先】

⇒ 中屋 (栄養学科棟 302, 088-633-7090, yutaka-nakaya@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 11時から14時の間)

⇒ 阪上 (303, 088-633-7091, hsakaue@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Target 生活習慣病の病態の理解

Outline 食生活習慣に起因する生活習慣病が増加しているが、食生活習慣の変化による代謝変化について講義を行う。さらに、食事と腸管での吸収に焦点をあて講義し、チュートリアル形式でグループ討論を行う。

Manner オムニバス方式

Keyword [キーワード]

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Notice 学位論文を作成すること

Goal [目標]

Schedule

1. 糖尿病、インスリン抵抗性、脂肪細胞の生理作用に関する分野において、発症機序などについて自己学習、グループ討論を行うことを通じて最新の治験を学ぶ (担当者: 中屋 豊)
2. 腸管での栄養素吸収機構について解説するとともに、チュートリアル形式で各自が自己学習し、討論を行うことにより深い理解を得るようになる。 (担当者: 高橋 章)

Evaluation Criteria 実験、討論を行い、論文作成する。

Re-evaluation ない

Textbook [教科書]

Reference [参考資料]

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217626>

Contact

⇒ Nakaya (栄養学科棟 302, +81-88-633-7090, yutaka-nakaya@nutr.med.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (Office Hour: Tuesday from 11:00 to 14:00)

⇒ Sakaue (303, +81-88-633-7091, hsakaue@nutr.med.tokushima-u.ac.jp)

MAIL